

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書 2014年 06月 日	
都道府県知事 (市長)	殿
提出者 住 所 兵庫県伊丹市昆陽北1丁目1-1 氏 名 ASブレーキシステムズ株式会社 社長 中神 雅史 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-771-2400	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ASブレーキシステムズ株式会社 伊丹製作所
事業場の所在地	兵庫県伊丹市昆陽北1丁目1-1
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	3199 輸送用機械器具製造業
事業の規模	売上高312億円
従業員数	伊丹製作所650名
特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
現状	【前年度(平成25年度)実績】 別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) メッキ品質向上を図って液の建浴をしたことで、 昨年度に比較し廃酸が増加した。		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃酸の減量化		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸と汚泥は専用容器にて分別管理		
計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従来通り専用容器にて分別管理		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（平成25年度）実績】なし		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
計画	【目標】なし		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今回は旧製品の処理で単発的に発生した 次年度には発生しない		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（平成25年度）実績】 なし		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組）			
計画	【目標】 なし		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
現状	【前年度（平成25年度）実績】なし		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
計画	【目標】なし		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 8 欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙

現状 前年度(平成25年度)実績(ton)

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	汚泥	廃石綿
排出量	243.4	48.7	8.9	0.5

計画 目標(ton)

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	汚泥
排出量	219.1	43.8	8.8

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状 前年度(平成24年度)実績(ton)

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	汚泥	廃石綿
全処理委託量	243.4	48.7	8.9	0.5
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0

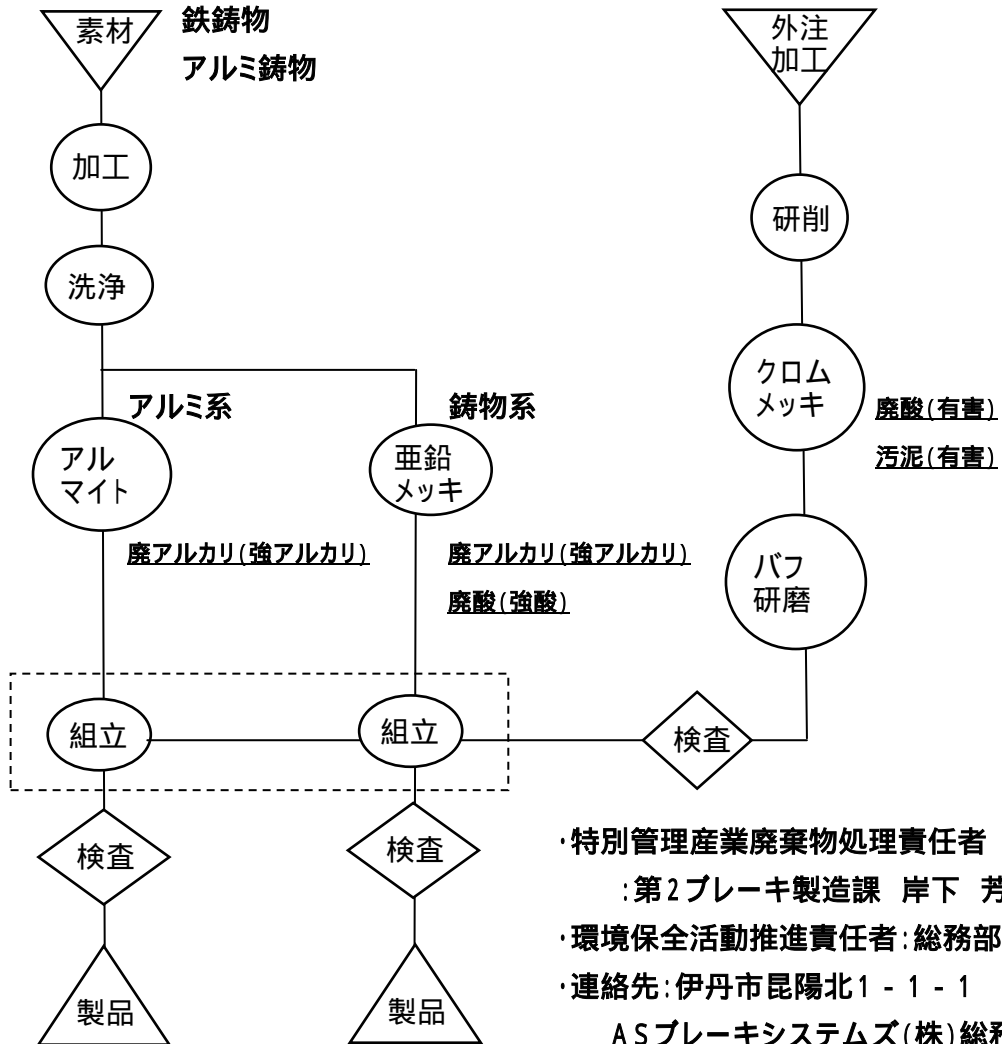
計画 目標(ton)

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	汚泥	廃石綿
全処理委託量	219.1	43.8	8.8	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0

ASブレーキシステムズ(株)伊丹製作所(特管産廃発生工程)

ブレーキ製造工程

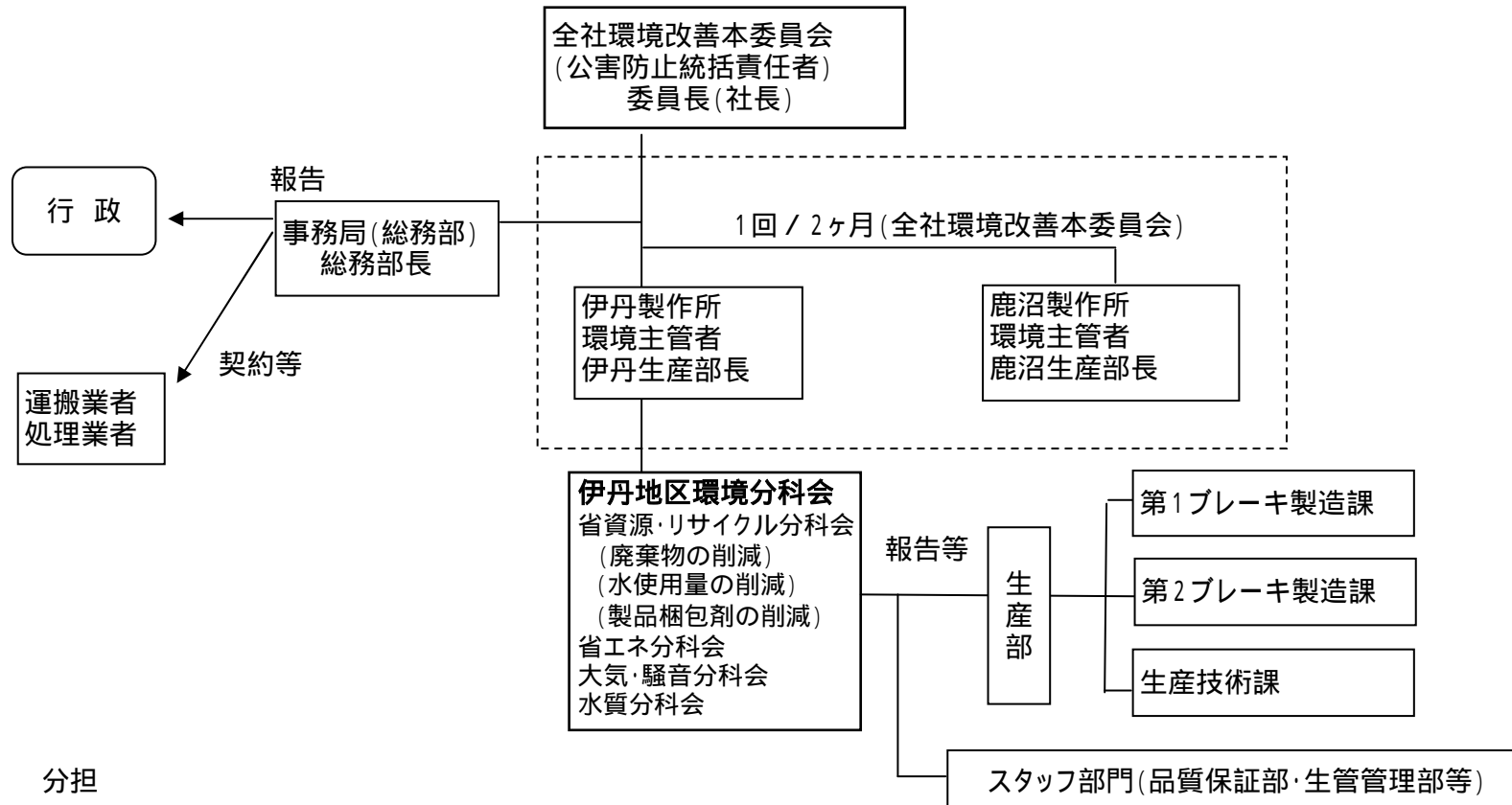
ピストン製造工程



・特別管理産業廃棄物処理責任者
 :第2ブレーキ製造課 岸下 芳久
 ・環境保全活動推進責任者:総務部員 松本 徳生
 ・連絡先:伊丹市昆陽北1-1-1
 ASブレーキシステムズ(株)総務部
 TEL:072-771-2400

	収集運搬業者	中間処理業者	処理方法	最終処分
廃酸	松田産業(株)	日本エコロジー(株)	中和	埋立(フェニックス)
廃酸	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	中和	埋立(アイエス総合開発(株))
廃アルカリ	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	中和	埋立(アイエス総合開発(株))
汚泥	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	コンクリート 固化・中和	埋立(アイエス総合開発(株))
廃石綿	興隆産業(株)	共英製鋼(株)	溶融	なし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



分担

・事務局(担当:総務部)

- ・環境ISOに基づく目的・目標(廃棄物削減等)の計画立案
- ・廃棄物処理に伴う部署間の調整、行政への報告
- ・処理業者の選定、委託契約等の手続き、引き渡し、適正処理の確認
- ・関係法令等の教育

・生産部他関係部署(担当:全部署)

- ・部内の生産に伴う産業廃棄物(含む特別産業廃棄物)の発生量削減、分別、保管場所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法等の徹底